

「学生」×「地域」カフェ

「『食の安全・安心』を伝えるしくみづくり」との連携について

三重県戦略企画部企画課

## 1 食の安全・安心を伝えるしくみづくりについて

県農産物安全課では、食事や間食の際に食べるものを自分で選ぶ機会が増える高校生から大学生までの世代に向けて、普段の買い物や調理等の際に活用できる「食の安全・安心情報」を知っていただき、普段の食生活に役立ていただく必要があると考えていました。

そのため、大学生等の若い世代が「どのような情報が必要とされ、かつどのような方法で伝えればよいのか」について、県内高等教育機関の学生を募集のうえ、検討会を開催し、食の安全・安心情報を継続して伝えることができる仕組みづくりを目指しました。

運営にあたっては、特定非営利活動法人津市NPOサポートセンター理事長の川北輝氏にコーディネーターの役割を担っていただきました。

## 2 取組概要

県内高等教育機関の学生を募集したところ、三重大学、鈴鹿短期大学、皇學館大学の学生延べ14人が参加し、計5回の検討会を開催しました。

検討会には、毎回学生4～9人と県職員3～5人が参加し、学生が興味を持っていることに、食の安全・安心を結びつけて伝える方法などについてアイデア出しや菓子づくり体験を行いました。

第1回 平成25年7月6日(土)

オリエンテーション、現状説明

第2回 平成25年7月24日(水)

農薬に関する講義、ワークショップ

第3回 平成25年8月27日(火)

食品添加物とふれあうラムネ菓子づくり

ワークショップ

第4回 平成25年11月27日(水)

第3回検討会で提案のあった企画案

「食の安全・安心しおり」のデザイン検討

第5回 平成26年2月12日(水)

「食の安全・安心しおり」の試作品披露

ワークショップ(すでに提案のあった

アイデアの優先順位づけ)

ワークショップの様子





### ラムネ菓子づくり体験



### 「食の安全・安心しおり」の試作品披露



たくさんのアイデアの中に、本に挟むしおりに情報を載せるという企画案があり、ま

ずはこの「しおりづくり」に取り組みました。

このしおりに載せる情報の原案は県で用意し、学生がそれを親しみやすくわかりやすい文章に書き換えたり、イラストを入れたりして、10種類のしおりをデザインしました。

完成した「食の安全・安心しおり」は、学生に利用していただけるよう、県内高等教育機関の図書館に配布・設置することができました。